

R5 高校魅力化コーディネーターによる 年度末画像公開企画⑦【1年総探 編】

市立高校魅力化コーディネーターが、年度末を控え、目下、画像を公開しています。今回は第7弾。

5月の行事にさかのぼる、だいぶ前の画像になりますが、ご覧いただきたいと思います。特に生徒たちに、思い出をたどることで自分たちの魅力を再発見してほしいという思いで、公開します。

(探究活動の充実) 1年 出前授業

～県内企業のSDGsの取り組み～盛岡市ものづくり人財育成事業

令和5年 5月16日(火)、本校第1体育館にて出前授業が行われました。

今回は、盛岡市ものづくり人財育成事業の一環で、SDGsへの意識の高い県内企業より講師が来校し、本校1年生に講義をしてくださいました。



この日、1年生総合的な探究の時間の出前授業に、企業より講師の方が来校しました。

講師は、タヤマスタジオ株式会社代表取締役の田山貴紘氏。本社事務所と、ショップ「engawa」を中の橋通りに、鉄瓶工房を小岩井駅近くに、ビバテラス敷地内では「てつびんの学校」、ショップ「SUNABA」を運営されています。

演題は、「SDGsへの取り組みについて」。



聴講した生徒の感想より

「はじめは、南部鉄器とSDGsに、共通点があるのか?と疑問に思っていました」

多くの生徒が抱いた疑問かも知れません。

生徒の目が講師に集まり、生徒の興味がうかがえます。

田山氏のお話で、鉄瓶は、長く使える点や処分しても土に還る点でSDGs(持続可能)に直結すること、また、ショップやカフェの業務を通して鉄瓶のある生活空間の演出により、製品への愛着形成をうながす取り組みがなされているとわかります。



サビの味とは違う、透明でまろやかな水のおいしさを出せる鉄瓶の良さや、鉄瓶を長きにわたって維持するコツについてお話いただきました。

長く使うにはポイントを押さえたひと手間が必要とのこと。
道具の維持も、SDG s（持続可能）に繋がる知識ですね。

鉄瓶愛好者として、サッカー日本代表の選手のご紹介されました。

代表を射止めるほどサッカーで多忙なイメージと、鉄瓶のゆったりしたイメージは、意外な結びつきに思えた人も多いのではないのでしょうか。

こんなエピソードの紹介も、鉄瓶の良さを伝えられる点で、まさに「SDG s」に繋がる取り組みですね。



長い付き合いは、私たち対・鉄瓶など道具との付き合いだけではなく、対・人間であっても、なおさら尊いことですよね。スクリーンの画像の、肩を組んで撮影している空気感からは、田山氏とご友人とのお付き合いの長さがうかがえます。

生徒のみなさんは、長いお付き合いのコツというものが先の鉄瓶のお話にヒントがあることを、読み取ってくれたでしょうか。

～生徒の感想より～ 【抜粋】

- ・すべての物をいろいろな方向から見ると、意外に身近なところに SDG s が沢山あることが分かった。
- ・経済活動も持続可能にするために、働きやすい会社を作っていることが、良いと思いました。
- ・人前で発表することはできるようになっておきたいし、自分のことも理解しておきたい。
- ・人を楽しませるために働くことはとてもいいことだと思いました。
- ・社会の中で人それぞれを尊重しあっていきたいと思いました。
- ・お話の最後の方にあった「疑問を持って生活すること」も意識して、自分の視野を広げたいです。

今回掲載した写真を見た生徒のみなさんは、「こんな活動もしたなあ」と自分の経験したことを再認識できたでしょうか。

自分を魅力化することは自分の能力・経験をよく知り、良い自己イメージを積み重ねることでありますので、今回の画像のご紹介が、その一助になればと思います。

文責 画像 高校魅力化コーディネーター